

八潮市民憲章

八潮市民憲章は、当初、昭和47年市制施行を記念して制定されました。このたび、八潮市民としての精神はそのままに、市民の皆さんのがより主体的に行動するような、時代に見合った表現に書き換え、新しく生まれ変わったものです。

制定にあたっては、市内3000世帯を対象にアンケート調査を実施したり、その他広報紙掲載等によって広く市民の方々の声を聞き、まさに市民の手による、市民のための憲章ができあがりました。



わたくしたちは、八潮市民であることには誇りと自覚を持ち、明るく住みよい、豊かで平和なまちを築くため、この憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、水と緑の美しいまちをつくります。
- 1 思いやりを大切にし、笑顔があふれる家庭とまちをつくります。
- 1 ルールを守り、安心して暮らせるまちをつくります。
- 1 生涯にわたり楽しく学び、文化の高いまちをつくります。
- 1 働く喜びを持ち、活気あるまちをつくります。

～もっと、もっと素敵なかつらをめざして、みんなの新しいちかい～

市民憲章・子ども憲章

市民で組織する八潮市制施行30周年記念事業実行委員会と行政が協働でこのような事業を実施しました。

八潮市子ども憲章

21世紀に生きる子どもたちが、健やかに成長していくための指針となるようにとの願いを込めた八潮市子ども憲章。

子ども議会において 子ども憲章を承認！



市内小学5年生から中学3年生までの児童生徒にアンケート調査を実施し、また、夏休みにも子どもたちの代表者と話し合いを設けて作成しました。また、大瀬小学校の市川隆敏さんと五十嵐聖紀さんが昨年11月6日の夢21やしおことども議会（下記）において説明し、こども議員満場一致によつて承認されたのです。

未来を担う子どもたちの成長を、家庭・地域・学校であたたかく見守つていきましょう。がんばれ！やしおの子どもたち！

昨年11月6日、八潮市議会議場で、行政を見直し、その自由な発想を未来のまちづくりに生かすと、市内小学校10校の6年生からこども議員を選んで、本物の市議会と同じ進行で行われているのです。

水と緑に恵まれた八潮市に生きる私たちは、輝かしい未来と無限の可能性に向かい健やかに成長していくことを誓い、ここに「八潮市子ども憲章」を定めます。

健康・命 わたしたちは、ひとつしかない尊い命を大切にし、明るく健康的な生活をします。

思いやり わたしたちは、いつも友だちや周囲の人に対する思いやりの心と感謝の心を持ち続けます。

家族 わたしたちは、かけがえのない家族を大切にし、協力しあい助け合います。

夢・希望 わたしたちは、大きな夢や希望を持ち、自ら進んで自分の道を切り開いていきます。

環境 わたしたちは、このまちの豊かな自然を大切にし、環境にやさしい生活をします。



写真（敬称略）（前列左から）門澤正俊、豊田収、戸所紗弓、松田温昭、文枝、小岩井彩乃、石川雅文、佐藤知恵、赤石桜、山本麻美、五十嵐聖紀、澤未帆、神馬萌美、森彩香、芝崎麻美、市川隆敏、横山晃彦、鈴木俊一、幡野輝、他市執行部

市勢要覧

「やしお」の良いところがギュギュッと詰まつた、市勢要覧を各家庭に1冊ずつ配布しました。（各町会・自治会から配布）八潮市の成り立ち、伝統文化、さまざまな事業、おすすめスポットなど、内容も盛りだくさんです。

これは、「やしお」をもつと知つて、一人でも多くの人に、このまちを好きになつてもらいたい、市制30周年を記念して各家庭で永久保存してほしいという気持ちで作成しました。

福祉マップ

バリアフリー社会の実現に向けてまちを紹介するために、福祉マップを作りました。

この地図は、市内在住の障害者の方や小中学校の児童生徒とともに、まちを歩いて、聞いて、点検して作成した手作りの地図です。

皆さんも、この地図を片手に、「やしお」を歩いてみてはいかがでしょうか。今まで気づかなかつた、たくさん優しさに出会えるかもしません。



（本編全28ページカラー刷、資料編全8ページ色刷）※全戸配布
問い合わせ 広聴広報課（内）226

